

かわにし

広報かわにし

No.549

平成16年5月10日



祝いの日

特集 自分の道を歩む…2
成人おめでとう 2004 成人式…4
真剣に考えよう合併について…8

人口の動き

—5月1日現在—

男	3,969 (+11)
女	4,036 (+2)
計	8,005 (+13)
世帯数	2,279 (+9)

() は前月比較



「記念品」は実物を見たらすぐに決まりました

やっぱり記念品は…

四月六日、成人式の実行委員会が総合体育館で開催されました。

五月三日の成人式の打ち合わせのため、町教育委員会の呼びかけに応じて保坂大空さん(栄町)、平沢卓紀さん(朝日町)、平野高行さん(四郎兼)、星名悠葵さん(伊友)の四人が集まりました。

この日は、記念講演の候補者や、誓いのことばの宣誓者、記念品受領代表者などを話し合っ

て決めたほか、記念品を何にするのかを相談しました。人選がすんなり決まった後、カタログを開いて記念品の選考

特集 自分の道を歩む

それぞれの選択でそれぞれの歩みを進めている新成人 94 人の中には、大都会に出て学生としてあるいは社会人として活躍する人もいれば、川西町に残って自分の生き方を見出した人もいます。

川西町で生活し地に足をつけて社会と関わりながら、成人式の実行委員として催しを支えた 3 人の新成人取材しました。

に入りました。

「これがいいよ、これで決定」

「そんなに簡単に決めるなよ」

「これもいいかも」

「そうかー、だったらこっちの方がいい」

「こうやんもあるぞ」

…事務局からも茶々が入ります。

結局この日は決まらず、見本

を取り寄せて再検討することになり

ました。

日を改めて、都合のつく保坂

さん、平沢さん、平野さんの三

人から集まってもらいました。

この日、記念品の見本も届い

ていたので、まずそれを決めま

した。

体育館のありがたさ

「川西町に住もうと思ったきっかけと今やっていることは？」

平野 特別な理由はありません



平野さん



平沢さん

ん。ごく自然にそのまま住んで

いるって感じ。

平野 そうそう、おれもそう。

平野 高校卒業してから堀之内

町の職業訓練校に行って、四月

から家の仕事、大工をします。

平沢 高校卒業してすぐ今の会

社(清掃業)に入ってそのまま

くみ取りの仕事を続けてます。

保坂 東京で新聞配達をしながら

コンピューターの専門学校に

通っていましたが、この四月に

帰ってきました。今は充電中です。

「ほかの県に出て暮らしてみ

たいと思うことはない？」

平沢 思わないな。家が一番

楽だし、川西町は結構気に入っ

てる。

保坂 出るのがめんどろ。

平沢 ちょーありきたりだけ

ど、自然があるのがこのいい

ところ。

保坂 スキーもできるし。

平沢 雪は別にいやじゃない。

平野 いやだよ。(笑)とりあ

えず行く当てもないけど、一、

三年雪の降らないところへ行っ

てみたいな。



保坂さん

合併しても変わらないで

「川西町に何か足りないと思

うことはない？」

平沢 うーん、特にないな。

平野 道路拡張とかも、もうあ

まりしなくてもいいんじゃない

い、お金がもったいないし。

平沢 今のままで別に不便じゃ

ないしな。あ、そうそう、夜

信号が点滅になるのが早いこ

こは。(笑)

保坂 東京で暮らして感じたん

だけど、ここは体育館がある。

二人 え？

保坂 総合体育館のように自由

に体を動かすところが向こうに

はないんだよ。あるのは有料の

ジムばかり。

無料で使える体育館があるこ

とのありがたさが、外に出てみ

てよくわかった。

二人 なるほど。

保坂 ずっと外で暮らすのはい

やだけど、しばらく放浪してみ

るのもいいな。

平沢 四国八十八か所めぐりな

んかいんじゃないか。

全員 いいかも。(笑)

平野 若者がたまるところがないな。

保坂 夜まで遊べるところがないんだよな。

平沢 千手温泉はいい、特にヒノキの風呂がいい。

平野 なんて？

平沢 石風呂は寝ると痛い。

平野 川西町のせいじゃないけど、年金に不安があるな。

平沢 保険料けっこう高いし。

平野 このまま払っていても、もらえなくなるんじゃないか。

保坂 こわいよな。

—市町村合併の動きが進んでいますか？

A 何で美雪市にならなかったんだろ。

B なんか、意味あるのかな、合併って。

C 住民の声とは関係ないところで進んでいるよな。

A 合併しないでほしいな。

B それは無理なんじゃないかな。

C このままでいいじゃん。

A いや、あるよ。「あんたどこに住んでるの」って聞かれて、「川西町」「え、どこ？」という会話がなくなるよ。(笑)

B たとえ合併しても、川西町

は変わらないでほしいよな。全員 うなづく。

いろいろと話は尽きないので、この日はこれぐらいにしておきましょう。

その後、それぞれが働いている、あるいは社会とつながっている現場におじゃましました。

早く一丁前に

平野高行さんは、棟梁で父親の勇さん(51)について大工修行の真つ最中です。この日は、小国町の現場で住宅改修の作業をしていました。



「厳しく仕込まれています」という平野さん

小さいときからお父さんの仕事をみてきて、「自分も大工になる」とずっと思っていたという平野さんは、高校を卒業して迷わず大工養成の職業訓練校に入り、二年間の研修を経てこの

四月から現場に立っています。

平野さんは、「学校で習ったのは基礎の基礎、現場は全然違いますね。毎日怒られてばかりいます。覚えることがいっぱいあって、大変です」と、現実の厳しさに直面しているようです。

師匠のお父さんに高行さんの「筋」はどうですかと伺うと、「いやー、教える方が大変で、まだ筋なんてもんじゃないねこつお」といいながらも、笑顔で目を細めました。

「今は、やり方を間違えないようにするのが精一杯」という平野さんの目標は、「早く一丁前になって、一軒自分で建てること」で、そう言うなりまた黙々と作業を続けました。

もっと上達したい

保坂大空さんは、毎週月曜日と木曜日の週二回、総合体育館でバレーボールのコーチとして小学生の指導をしています。

両親ともバレーボールの指導者として活躍しているため、小さいときからバレーボールに親しんできた保坂さんは、コーチの依頼があったときも「ごく自然に引き受け」ました。

「子どもはいうことを聞かないときもあるので大変ですが、楽しんでやっています」と、この日小学校四年生にトスの指導



「この場にいることがうれしい」という保坂さん

をしていた保坂さんの表情はとも明るく、子どもたちも「楽しい」「おもしろい」とはしゃぎながら練習していました。「バレーボールが好きなので、その中にいられるのが嬉しいし、自分もうまくなりたいので、このまま続けていこうと思います」と、自分の居場所を定めて次なるステップを模索しています。

自分が選んだ道だから

平沢卓紀さんの職場は塩沢町の清掃会社です。

平沢さんは、バキュームカーに乗って湯沢町、塩沢町、六日町、大和町などの住宅や施設のし尿等のくみ取りを行っています。

「この仕事の基本で、浄化槽の管理は専門知識が必要になります」と、ときばきと機器を操作してくみ取り作業を進める平



「仕事が効率よくできると楽しい」という平沢さん

「キタナイ、クサイといわれる仕事ですが、自分が選んだ道なので続けます」と、自らの仕事に自信と誇りを持つ平沢さんの横顔は、とてもたくましく映りました。

しっかりと自らの歩みを進めている新成人のみなさんとともに、同じ地域に生きる私たちもお互いに高めあって生きていきたいですね。

祝
成人 おめでとう 2004 成人式
5月3日 / 総合体育館



新成人を代表して誓いの言葉を述べる滋野信幸さん

今年の成人者は、一九八三年（昭和五十八年）四月二日から一九八四年（昭和五十九年）四月一日までに生まれた男子五二人、女子四二人、合計九四人です。このうち、八五人が成人式に出席しました。

この年、田中元首相に実刑判決、三宅島大噴火、「おしん」の大ヒット、国際的には、旧ソ連による大韓航空機撃墜事件などがありました。

五月三日の成人式に出席したみなさんをご紹介します。

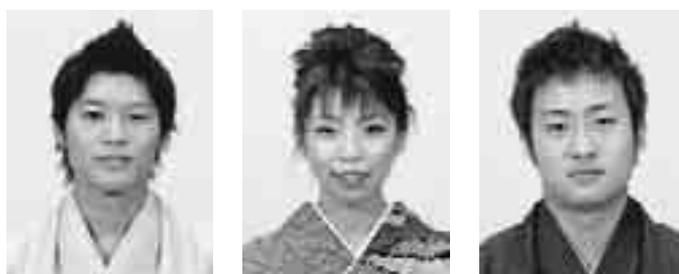


丸山公民館長から記念品を受ける高橋えみさん

成人者へのはなむけの言葉
元 川西中学校学年主任
徳永恭子さん

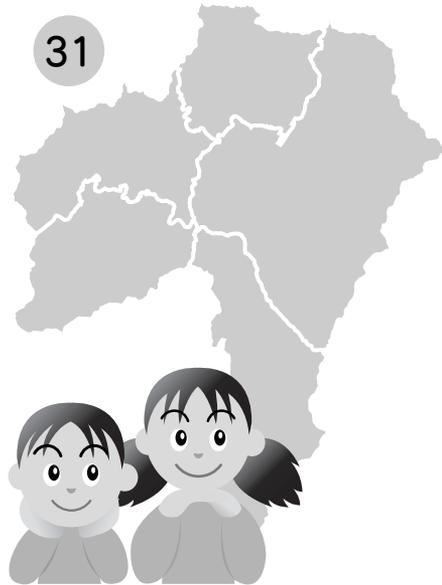


仲よし4人組、ずっと変わらずに…



真剣に考えよう 合併について

31



第一回合併協議会で合併の期日は 平成十七年三月三十一日に決定

去る四月十三日、第一回十日町広域圏合併協議会が中里村総合センターで開かれました。

今回の合併協議会は、四月一日に設置された十日町広域圏合併協議会の最初の協議会になります。五市町村の区域ごとに選挙区を設けて選出されることになり、合併の期日、平成十六年度合併協議会予算、新市の建設計画の事前協議、合併協議会小委員会の設置要領及び協議会の議員の定数等に関する小委員会の設置について協議がありました。

合併後、最初に行われる議会議員の選挙は、定数を四十人とし、五市町村の区域ごとに選挙区を設けて選出されることになり、意協議会で決定されています。その選挙区の定数について協議するため、合併協議会に議員の定数等に関する小委員会が設置されました。

小委員会は、合併協議会委員のうち各議会議長と議会合併特別委員長の十人で構成されます。委員長には、吉楽正実川

議会議員の定数等に関する小委員会を設置

合併までのスケジュールは

西町議会議長が就任しました。

四月一日に法定協議会が設立されたことにより合併に向けた具体的なスケジュールが示されました。合併協議会での協議は、四月から六月の間に五回開催される予定となっております。この協議では合併の期日、議員定数・選挙区定数、地域審議会・地域自治組織、新市建設計画など重要な案件が協議されることになっていきます。この協議を踏まえ、七月には五市町村の合併協定調



平山県知事(右)に合併協議会設置の届けをする5市長村長ほか

印が予定され、調印後、町議会の議決を経て県知事に合併の申請を行うこととなります。

合併は総務大臣の告示で効力が発生

県知事は合併申請書を受理すると総務大臣と協議を行い、県議会に提案します。県議会の議決により合併が決定します。決定を行ったときは直ちにその旨を総務大臣に届けなければなりません。

総務大臣は、県知事から合併の届出を受理したときは直ちにその旨を告示するとともに、これを国の関係行政機関に通知します。市町村合併の処分は、この総務大臣の告示により効力が生じることになります。

合併協議会設置を県知事に届出

三月三十日に五市町村の議会がそろって合併協議会設置を議決したこと、四月一日に「十日町広域圏合併協議会」を設立しました。

これを受け、五市町村の首長は四月二日、県庁に出向き、平山征夫県知事に合併協議会設置届けしました。

第一回合併協議会で報告のあった事項

(一) 会長及び副会長

会長	十日町市長 滝沢信一
副会長	川西町長 田口直人

(二) 幹事会

十日町市	助役、合併推進課長
川西町	助役、総務課長
中里村	収入役、総務課長
松代町	助役、総務課長
松之山町	助役、総務課長

(三) 監査委員

川西町収入役
松代町収入役

(四) 協議会に要する経費の負担割合

負担割合は、均等割三十%、人口割七十%で算出されました。

十日町市	五二・二八六%
川西町	一四・八一〇%
中里村	一二・九一三%
松代町	一〇・五六四%
松之山町	九・四二七%

真剣に考えよう 合併について

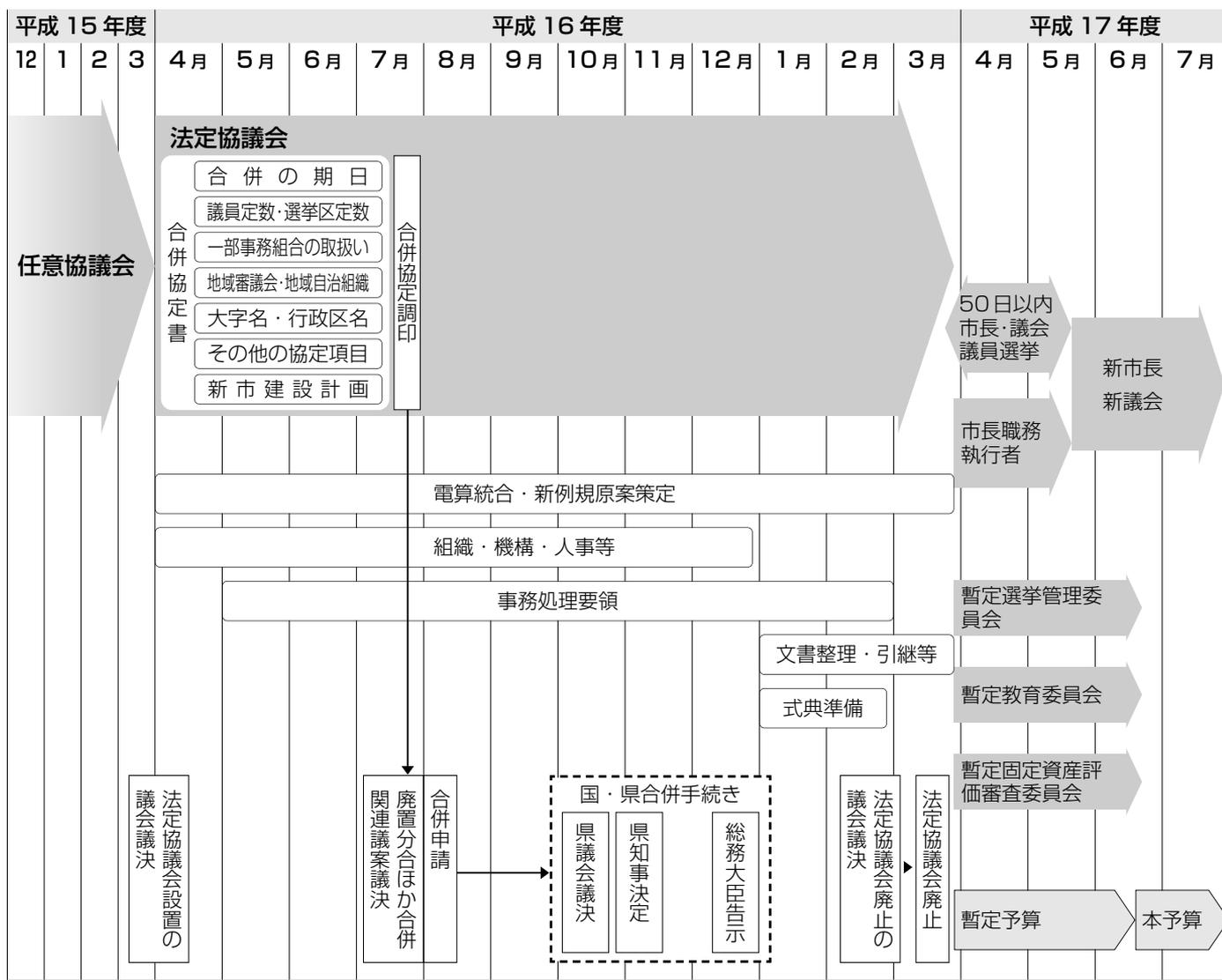


二 協議会で協議・決定された事項

- ◎ 「合併協議会小委員会設置要領」が決定されました。
- ◎ 平成十六年度協議会予算が、一億六千九百三十六万一千円に決定されました。
- ◎ 新市建設計画（案）が本協議前に協議されました。
- ◎ 合併の期日が平成十七年三月三十一日に決定しました。
- ◎ 「議会議員の定数に関する委員会」を設置することが決定されました。

十日町市広域圏合併協議会スケジュール表（案）

平成 16 年 4 月現在



6月22日（火） 午後1時30分	5月31日（月） 午後1時30分	5月18日（火） 午後1時30分	5月7日（金） 午後1時30分	開催日	会場	予定議案
松之山町自然休養村センター	松代町総合センター	川西町総合体育館	クロス 10			
地域自治組織、大字名、行政区画、新市建設計画（最終決定）	事務組織・機構、商工観光、建設、克雪利雪、上水道、下水道、学校教育、社会教育、電算システム、新市建設計画（本協議案）	議員の定数、農業委員会、地方税、一部事務組合、国民健康保険、介護保険、環境衛生、地域福祉、母子児童福祉、生涯福祉、高齢福祉、保健衛生、医療費助成、農林業	合併の方式、名称、事務所的位置、財産・債務、地域審議会、職員の身分、条例・規則、公共的団体、第3セクタ、使用料・手数料、補助金・交付金、女性政策、消防防災 ほか			

協議会の開催予定をお知らせします

フリーマーケット大盛況！

四月二十四日、総合体育館で子育てネットワーク「ひるば」(小島伸子代表)主催のフリーマーケットが行われました。

小さくなった衣料品や靴、おもちゃやビデオなど、まだまだ使えるものがいっぱい会場に並び、お店を手伝う子どもたちの「いらっしゃいませ」、「ありがとうございます」という元気な声が飛び交う中、訪れた人たちは大きな袋を抱えて帰っていきました。

スタッフの一人は、「出店者は二人で、今までで最高なんですよ。十日町市や中里村など町外からも多数参加してくれて」と、嬉しそうに話しました。どんだん広がっていく子育ての輪とともに、お母さんたちのパワーも確実にアップしているようです。



いっぱい並んで「どれにしようかなあ」と選ぶ方も真剣です

今年も賑わいました野口水ばしょうまつり



おいしいものがいっぱいでおしゃべりも弾みます

4月18日、恒例の「野口水ばしょうまつり」が行われました。

青空の下で、水ばしょうを眺めながら、水ばしょう汁や地酒、たこ焼きなどを美味しく食べる子どもの姿や、カラオケに耳を傾ける人たちが賑わっていました。

訪れた人の中には、「埼玉から来たんですよ。私たちグループは、毎年この水ばしょうまつりに合わせて来て、ふきのとうを採るんです」とうれしそうに話す人もいました。

合併を考える会が署名活動開始

4月26日、川西町合併を考える会代表の真明成光さん(68・上町)が役場を訪れ、5市町村合併の可否を問う住民投票条例案を添付した「条例制定請求代表者証明書交付申請書」を提出しました。

これは、地方自治法第74条に規定する住民発議に基づく条例制定の署名活動を実施するために必要な手続きで、証明書は即日交付されました。

これにより、同会では5月25日までの30日間に限り署名活動をすることができます。そして、有権者の50分の1以上の署名が集まると、条例制定

の直接請求をすることができます。

この請求がされると、町長は町議会に条例制定の可否について付議し、議会で審議・採決されることになります。



高橋総務課長に申請書を手渡す真明代表



最後にトラックいっぱい集まったゴミを分別し、汗を拭きながらジュースを飲んでいる参加者の顔には本当の笑顔がありました。また来年も参加しよう！

このイベントの目的は、ただ「町をきれいに」ということだけでなく「あいさつをとおして地域のふれあいを深める」ことや、「清掃活動をとおして社会奉仕の大切さと充実感を身をもって知り、地域への感謝の気持ちと愛着を深める」こともあると思います。

今年も「熊野社神輿会」(山口康司代表)主催の「町内クリーン作戦」が四月二十五日に行われました。

《高橋数昭さん(仁田) 発》

さわやかなごみ拾い





(千手小学校)

中学生になると表情も引き締まります (川西中学校)



四月五日に町内各小中学校の、また、八日には川西高校の入学式が行われました。フレッシュなその日の模様を紹介します。



誇らしさと緊張感が同居する入場行進 (川西高校)



見つめる先は… (上野小学校)



名前を呼ばれて「ハイ」 (橘小学校)



花に囲まれた日は忘れない (仙田小学校)

「まだ名前がありません」の巻



「なかなか理想どおりにならなくてねー」と言いながらも、長部春代さん(66・中屋敷)は目を細めて満足そうです。

去年四月、平成九年に東京に出てから六年ぶりに自宅に帰ってきました。

「私自身もそうですが、年を取って連れ合いもなく話し相手がないと寂しいので、そういう人たちが集まって茶飲み話ができる場所を作りたい」と、自宅をリフォームしました。

「最初はお年寄りを相手にする喫茶店にしたかったんですが、規制やお金の面であきらめました」ということで、応接セットと湯沸かし場のある部屋を、気の合う仲間の会合やサークル活動に開放しています。

ピアノも置いてあり、音楽サークルのような使い方もできます。

「そんなめんどろなことで

なくても、私でよければ話し相手になるので、お年寄りの方が一人で来てもらってもいいですよ。そのためにここを取っ払えるようにしました」と、隣の洋裁工房との間の戸を開け放ちました。



長部さんには洋裁の技術があり、「洋服直しで何とか生活しながら、こっこの部屋はみなさんに使ってもらうようにしてやんです」と、利用を呼びかけています。

「ただ、まだこの部屋の名前が決まっていなくてねー。なんかいい名前がねべか」。

長部さんの思いと利用者の輪は、まだまだ広がりそうです。

募 集

「リハビリ教室」 参加者・ボランティア 募集のお知らせ

町では、脳卒中後遺症等により体に障害のある方を対象としてリハビリ教室を実施しています。参加者とボランティアを募集していますので、興味のある方はご連絡ください。

参加者

- 対象 四〇歳以上の住民で次のいずれかに該当し、家族の協力等により通所が可能な方
- ①医療終了後も継続して訓練を行なう必要がある方
- ②身体に障害があり、必要な訓練を受けていない方や外出の機会を求めている方
- ③老化等により心身機能が低下している方

- 内容 機能訓練・手工芸・外出・茶話会など(月二回)看護師やヘルパーが介助します。
- 会場 保健センター三階機能回復訓練室ほか
- 時間 午後一時半～四時
- その他 送迎バスがあります。

ボランティア

話し相手、簡単な介助、お茶出しなどのお仕事です。ご協力いただける方は、どなたでも結構です。

問い合わせ

けんこう支援課健康推進係
☎68-4958



第六十四回国民体育大会 愛称・キャッチコピー 募集

二〇〇九年(平成二十一年)に新潟県で開催する第六十四回国民体育大会の愛称・キャッチコピーを募集します。「愛称」「キャッチコピー」それぞれ最優秀賞一点と優秀賞三点を選び、最優秀賞には一〇万円、優秀賞には三万円を差し上げます(入賞者が高校生以下の場合、賞金相当の商品を差し上げます)。

■募集作品

愛称

歴史や風土、文化等から連想される新潟らしさを表し、親しみやすく呼びやすい、第六十四回国体の愛称としてふさわしいことば。

キャッチコピー

第六十四回国体の趣旨や目的を簡潔に表現することば。

■募集期限

五月二十五日(火)

■応募方法

官製はがき、応募リーフレット付属のがき、FAX、インターネットにより一件につき一点を明記し、それぞれ簡単な説明を付け加えてください。郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業(学校名)を記入のうえ左記にご応募ください。

■応募先・問い合わせ

第六十四回国民体育大会新潟県準備委員会事務局 愛称・キャッチコピー募集係
〒九五〇-八五七〇
新潟市新光町四番地一
☎025-280-5625
FAX025-280-5276
ホームページアドレス
<http://www.pref.nigata.jp/kokutai/>

「参加者を

待っています!」

「精神障害者デイケア」



開始から半年を過ぎ、参加者同士「よう!」「やあ!」と笑顔で挨拶を交わせる関係もできてきて、今後が楽しみな会になってきました。ただ悩みは、まだ参加者が少ないこと。「もっと仲間を増やしたい!」「仲間が増えれば、もっといろんな事ができる」そんな思いで新しい参加者を首を長くして待っています。

現在、精神障害を持ちながら日中も在宅で過ごしている方がいらっしやいましたら、ぜひデイケアに参加してみてください。

今日のメニューはチャーハンとスープに:これは精神障害者デイケアの、調理実習の作品です。

川西町での精神障害者デイケアは、精神障害者地域生活支援センターエンゼル妻有の事業として昨年九月から月一回開催されています。障害者本人の参加はまだ三、四人ですが、町の精神障害者家族会の会員や町保健師も参加して、デイケアを盛り立てながら楽しいひとときを過ごしています。内容は参加者で相談しながら決めています(やっぱり皆が食べるのが大好きで、調理実習が中心になっています)。

■問い合わせ

けんこう支援課健康推進係
☎68-4958

相談

定例社会保険 相談所開設

新潟社会保険事務局六日町事務所では、地域の皆様から年金や健康保険について、より理解を深めていただくために、年間を通して「定例社会保険相談所」を開設しています。

年金や健康保険の相談及び年金請求手続の方法など、社会保険の相談に応じますので、お気軽にご利用ください。

なお、相談は無料です。

■**開場** クロス10 三階第二会議室

■**開設日** 毎月第二木曜日と第四木曜日

■**時間** 午前十時～午後三時

■**問い合わせ**

新潟社会保険事務局六日町営業所庶務課
南魚沼郡六日町大字六日町北
沖九三―一七
☎025―770―2211



教室・講習

IHクッキングヒーター 使い方講習会

「和の旬菜料理で覚えるIHクッキングヒーター使い方講習会」

■**日時** 五月二十九日(土)

午前十時半～午後一時

■**申込締切** 五月二十一日(金)

■**募集定員** 一二人

■**参加費** 五〇〇円

■**用意するもの** エプロン

■**会場** 東北電力(株)十日町営業所クッキングスタジオ「えぷろん」

■**申し込み・問い合わせ**

東北電力(株)十日町営業所
お客さまセンター
☎52―3107

その他

「電波利用保護旬間」

電波を正しく使用するために、電波法というルールがあります。

しかし、ルールを守らない「不法無線局」から発射される強力な電波(不法電波)により、テレビ・ラジオなどの放送受信機器や、消防や救急など重要な無線通信への混信・妨害があとを絶たない状況にあります。

私たちみんなの財産である電波、その良好な利用環境を守るため、「不法無線局」をなくし、電波を正しく使しましょう。

テレビがきれいに映らない、無線機に雑音が入るといった電波に関するご相談は、信越総合通信局までどうぞ。

■**問い合わせ**

無線設備への混信・妨害に関する相談
監視調査課

☎026―234―9976
テレビ・ラジオなど放送の受信障害に関する相談

受信障害対策官
☎026―234―9991

その他の行政相談
調査官
☎026―234―9961

〒380―8795

長野市旭町一〇八番地
総務省信越総合通信局

<http://www.shinetsu-br.go.jp/>

自動車税は 五月三十一日まで 納めましょう

自動車税の納期限は、五月三十一日(月)です。納期限までに納めましょう。

■**問い合わせ**

十日町地域振興局 県税部
収税課(旧十日町県税事務所
収税課)
☎57―5513

新潟県税務広報ホームページ

「県税の窓口」は
<http://www.pref.nigata.jp/kanzai/>です。

慰霊巡拝事業のお知らせ

旧主要戦域における慰霊巡拝事業(厚生労働省主催)が次のとおり実施されます。

■**実施地域**

旧ソ連地域、モンゴル、中国東北地区、パラオ諸島、東部ニューギニア、フィリピン、ミャンマー、硫黄島

■**実施時期**

平成十六年八月下旬～平成十七年三月中旬

■**申し込み・問い合わせ**

新潟県福祉保健課課後援室
☎025―280―5180

「大地の芸術祭'03記録集」が 刊行されました



昨年夏に開催された「第2回大地の芸術祭」の活動の軌跡をまとめた記録集ができました。「ホワイトプロジェクト」など芸術祭の魅力がぎっしり詰まっています。書店で注文によりお求めになれます。

また、川西町総合体育館の図書コーナーでも貸し出しを行っていますのでぜひご覧ください。

■**注文番号** ISBN 4-7738-0440-9
■**問い合わせ** まちづくり推進課 ☎68-4952

ご注意ください！
消費者トラブル情報

左の(例)のようなハガキにご注意ください。

新潟県消費者生活センターに「最終通告」「催告書」などと書かれたハガキや封書、メールが届いたという相談が多数寄せられています。脅迫めいた文書で書かれているものが多く、次から次へ後を絶ちません。

《アドバイス》

「利用した覚えのない請求」は支払わない！連絡を取らずに無視すること！

① 通知書が届いても、覚えがなければ連絡を取らずに無視してください。

② 特に郵送の場合、こちらから絶対に電話をかけないでください。連絡をとることで、「確かにその住所に住んでいる」、「郵便を受け取った」ということが相手にわかることになります。

③ 強引な取り立てがありましたら、地元警察署に連絡してください。

■問い合わせ

新潟県消費者生活センター
☎025-285-4196

不良債権請求督促通達書(督促状)

例

第1 債権に対する権利の変更

貴方様のご利用された未納金(有料番組等)について運営業者様から債権譲渡を承りました。

第2 裁判決議実施について

期日までに回答がない債務者につきまして、裁判決議に同意したとみなし、弊社顧問弁護士と共に協議の結果、次の通り最終和解案(債権減額措置、免責)を決定し最悪の場合、裁判所の許可の下に担当回収員がご自宅に直接お伺いします。ご自宅不在の場合はお客様の近隣調査を行い、会社等へ給料や財産等の差し押さえ手続きを行わせて頂きます。尚、ご本人様もしくは和解交渉の意思のある方は、大至急ご連絡して頂けるようお願いします。

この通達は最終通告になります。

担当者直通
090-0000-0000
090-0000-0000
最終受付期限 平成16年〇月〇日(金)
営業時間 平日 9:00~17:00
土曜 10:00~15:00
お客様コード KJ178000
(株)〇〇債権管理センター
〒100-0000 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇



16 川西町 体育協会

協会加盟団体の紹介

【スポーツ少年団】

川西町スポーツ少年団は、昨年設立二五周年を迎え長い伝統を築いてきました。少子化の中でも加盟団体は、現在五種目七団体で活動しています。各団体ともスポーツをとおした心身の健全な育成に取り組んでいます。どうぞ皆さんご参加ください。

- 千手野球スポーツ少年団 千手小学校 毎週土日曜、午前九時~十二時
- 上野野球スポーツ少年団 上野小学校 毎週土日曜、午前九時~十一時半
- 橘野球スポーツ少年団 橘小学校 毎週土日曜、午前九時~十一時半
- 卓球スポーツ少年団 町総合体育館 毎週月水金曜、午後六時半~八時半
- 柔道スポーツ少年団 町総合体育館 毎週月木曜、午後七時~九時
- 空手道スポーツ少年団 町総合体育館 毎週月木曜、午後七時~九時
- バレーボールスポーツ少年団



町総合体育館 毎週月木曜、午後七時~八時半 及び 土曜日 午前九時~十一時半
●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局 (☎68-2167)



みんなのミニ花壇完成



役場南側駐車場の一角にミニ花壇が誕生しました。

木柵、ブロックなどプランターのほかは廃物利用で整備しました。職員手作りで。

ビオラ、ルピナス、ツリガネソウ、ホウキグサなどの花もこぼれ種を発芽させたもので、近所の人たちも花の手入れを手伝ってくれます。

「花は、『きれいだ』というともっときれいになります。みなさんも話しかけてください」という担当の呼びかけに、ぜひ応えてみてください。

小国町の太貝

旧仙田村であった太貝集落は、昭和二十七年七月に、刈羽郡上小国村（現小国町）に分村合併した。

太貝は、仙田郷の最北端で、隣の小白倉から三キロばかりの道のりだが、役場のある中仙田へは曲がりくねった道を一〇キロ以上も歩かなければならない。

しかも、雪の季節ともなれば雪崩の危険が所が次々とあるので、「白倉まで出かけていくのでさえ、命がけの思いをしたもんだ」と話した人がある。

小国郷の最南端にある上小国村三桶集落とは、渋海川を隔てる向かい合いのムラ同士で、昔のように渡し船で往き来しているところは、荒れ川で危なかったけれども、永久橋が架けられてからは、ほんの一足で行ける町内と同じような親しい交流が続けられていた。

太貝の最初のムラづくりは、榎峠の近くであったという。その後、水田を開いて渋海川の左岸に移り、さらに右岸に三度目のムラをつくったのが現在の場所であると伝える。移転するたびに、三桶に近くなってきたわけである。

三桶・太貝から東の山へ急な坂道を登って次郎ヶ峯を越える。こんどは下るばかりで、孫



谷間に寄り添う太貝集落

たちであった。

こんなことから、三桶・太貝から橘・上野村へ嫁いできた娘も何人かいた。伊勢平治観音の十七夜競馬に出場して、見事に入賞した馬もある。

しかし、橋を渡って学校児童たちを上小国校に委託通学させたり、青年団に加入したり、郵便・新聞なども配達されるようになること、太貝の生活は完全に上小国村と密着するようになって、合併した。

第二次世界大戦直後に最高の三六世帯だった太貝は、筆者が

おらむらの話 (第三十七回)

上野 上村政基

四郎（現小千谷市真人町）を経て、野口・仁田に至る。大事な街道であり、川西地方とはいろいろなつながりがあった。

ウスマキの上手な職人がいて、昭和初年までは毎年川西地方を回っていた。ウスマキというのは、もみすりの土臼を作ることである。

また、雪消えに柏崎イワシを担いで売りに来た人たちがいた。柏崎の魚問屋が運んできたイワシを、三桶に二軒あった取継店が扱い、手分けして振り売りに来たのが三桶のオカミサン

は一番西にあるムラであった。高いところにあるので、朝日が早く差してくるといわれている。

霧が深く立ちこめるところだから、桐山（霧山）の名が付けたのだらうという人があり、また家の周りに朝日が差しても、山の谷間にはまだ濃い霧が沈んでいるようにこもっている、それが全部晴れ上がると、

本当に気持ちのいい秋の一日になると話し、これが俺たちの郷土なんだなあと、今更のように身にしみる思いがしたものだともいった。

仙田桐山・松代桐山の両集落は川ひとつで区切られ、その西のすぐ近くに栃ヶ原村（現高柳町）の後谷集落があった。ひとつにまとまっているようだが、行政の扱いでは、中魚・東頸・刈羽の三郡にそれぞれ属している三集落であった。

桐山には桑原・川崎の二姓があり、明治以来は一八〇二〇戸あったという。ちなみに、松代桐山は五五戸くらい、後谷は二一、三戸だったと聞いた。

昭和二十三年に、仙田・高柳村で協定して後谷地区に組合立小中学校を開設し、三十六年には松代町も加わって三町村の組合立となったが、四十二年に仙田

桐山が松代町に合併し、四十六年には後谷が閉村したので、松代町だけの学校となった。

松代桐山は全戸が室島の相国寺檀家であったけれども、後谷の佐藤・柳氏と、近くの清水集落では上野の西永寺檀家であった。大正年代に別の寺院に転じているが、村の創立に何か特別のつながりがあったものであろうか。

また、仙田桐山の十二社には三尊種子を刻んだ板碑（自然石梵字碑）があり、北朝年号文和五年（一三五六）二月十三日の銘があること、さらに松代桐山の十二社にも同様の種子・年銘の碑があることを、昭和五十七年に金子幸作・太田善次郎氏が発見している。

川西地方の板碑に関連があると思えるし、刈羽郡内の各地にも、南北朝時代の里見氏に關係する伝承がいくつも残っている。併せて検討していく必要がある。



仙田桐山十二社



平成十六年度も新たに一二〇人の新入生を迎えてスタートしました。「地域に愛される生徒、期待される川西高校を目指して、楽しく元気で、みんなで力を合わせて有意義な高校生活を築き上げよう」を目標に指導をしていきたいと考えています。

高校生活を有意義に楽しく、進路希望や夢の実現をかなえることのできる学校として、まず基礎学力の定着を基本とした指導を行い、各自の希望に対応し

た進路指導を実施していきま

す。特に本校では進路希望において、大学進学、専門学校、就職と様々なので、進路希望実現のために進路講演会や補習指導の実施を計画しています。

進路希望がはつきりとし勉強が充実すれば、生活習慣にも自覚と余裕が出来てきます。

川西高校では今後も部活動の充実を図り、個性・特技を伸ばす中で人間関係を学び、ボランティア体験活動、企業体験活動などを計画し、心豊かな人づくりを目指していきます。

生徒の進路希望が実現し、楽しい高校生活を送れるように、職員と生徒が一丸となって目標に向かって頑張ることにより、「地域に愛され、期待される川西高校」が実現するはず

です。実現のために、今後も川西町の皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

体にイイコト始めませんか？

「あなたは今健康ですか？」そして、五年・一〇年後も今のままでいられる自信がありますか？

膝や腰が痛む、ちよつとしたことでつまづきやすくなる、物忘れをするようになる、筋力が落ちる、骨密度が下がる…このようなことは年をとると多くの方が感じることに

かと思えます。そして、主に筋肉づくり、脳刺激、骨づくりなどを入れ、これらを軽減することを目的に作られた体操が「レインボーけんこつ体操」です。

現在川西町では、福祉センター、坪山公民館、木落構造改善センター、川辺集落センター、赤谷集落センター、その他に自主活動の教室もあり、全部で十三会場で行われています。(町教室の詳細は「お知らせ版」暮らしのカレンダーをご覧ください)

参加者は、五十代～八十代(男女)と幅広い年齢層になっており、みなさんからは次のような声が聞かれています。

参加者の声

- ・長年、頭痛やめまいに悩まされていたが、開放された。
- ・病院に行く回数が減った。
- ・血圧が上がらなくなり、また転んでも軽く済んだ。
- ・膝の痛みが軽くなって、歩くのが楽になった。
- ・階段昇降が楽になった。
- ・トイレが長く我慢できるようにになった。
- ・水中運動と両方参加しているが、骨密度が上がってきた。
- ・たくさんの仲間ができて、生活の張りができた。

このような効果が多いため、少しく興味を持った方、新しく何かを始めたい方、

と思っている方、ぜひ一度ご参加ください。楽しさ、良さが実感できると思います。

人生八〇年の時代、最期まで自分のことは自分でできる体を保って生きたいものです。

『青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。』略(サミュエル・ウルマンの詩)

やってみよう!と思った時がチャンスです。みなさんの参加をお待ちしています。



■お問い合わせ
けんこう支援課 健康推進係

☎68-4958 (直通)

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

門脇 マツ 79 (慶 淳) 伊友
 片桐 チトエ 90 (定 治) 根深
 渡貫 トク 79 (久 夫) 上野
 星野 ツネ 80 (久 夫) 野口
 うぶ声—おすこやかに

田中 風雅 幸代 發電所通り東

南雲 圭斗 孝幸 朝日町

星名 友梨 俊一 沖立

南雲 瑞葵 信考 みのり団地

高砂—二円満に

関口 昌生 みのり団地

山家 拓朗 十日町市

(4月1日〜30日届け出順)



かわにし俳壇

高崎正風選

飛行機雲すぐに崩れて春の空
 福寿草日当る色となりけり
 形あるものに影あり水温む
 芹の香の残る筈ある厨かな
 残雪の嶺をはるかに落のとう

新町新田 若山 向山

花冷えや障子傾むく古き庫裡
 段丘の家近々と鳥帰る

降りしきる雨を見上げて花の宿
 土つけて筈二本届きけり
 花は葉に子猫三匹生まれけり

五十年姉を看取りて老いの春
 これ男これ女てふ露の臺
 一夜さにブナの芽吹きの円やかに

霜糸 星名 星光
 野口 村越 由喜

嘯りや畑に物置く小屋作る
 呼びあって山菜採りや春の山

一と雨に一際濃ゆしブナ若葉

小白倉 田中 優美

薫風に校歌のごとく山河あり
 今もなほ屋号で呼ばれ耕せる

練馬区 須藤 遊人

古里の春の恵みを摘みにけり
 草餅の嬉しと礼の便り来る

大倉 中條 石平

日曜日畠を耕す人多し
 幸せは畠に好きな種蒔いて

八王子市 松浦 サク

夕立の洗ひ出したる草のいろ
 足音に散って又寄る目高かな

元町 田畑 吉治

春の空飛機雲伸びて五十六忌
 信濃川水ゆつたりと春深し

野口 高橋 波京

みんなして見上げておりし花見かな
 ふきのとう春の香りをはこびけり

野口 村越 こう

日の当たる土手に芽を出しふきのとう
 庭の梅まだかたくとじ日差し待つ

室島 高野 チヨ

散る花の老の肩にも二三片
 蓬の香我れを包める湯浴みかな

田中町 石沢 澄代

寺ゆする地吹雪一周忌を修す
 空白も記録の一つ日記果つ

中屋敷 金子 鉄平

もくれんも桜も競うごと咲きぬ
 友四人庭の桜に茶会かな

霜糸 蔵品ハツエ

八海は校歌の山よ卒業す
 渡舟場の跡かたもなく猫柳

野口 野沢 寅生

花吹雪ためしの酒に酔ひにけり
 つみ草やトロッコ遊びの日も遠く

足立区 涌井ハル子

袖着て花見の客となりけり
 ぜんまいの穂綿に銀の雨の粒

岩瀬 登坂伊智子

寸評

正風

幸せは—あれこれと収穫を楽しみに
 好きな野菜の種を蒔く、それが幸せなの
 であり、元気で畠仕事ができることもま
 た幸せである、というのである。

休日救急医

- 5月16日 山口医院 (十日町市袋町中) ☎ 52-2174
- 23日 大熊内科医院 (十日町市山本町1) ☎ 52-7066
- 〃 上村病院 (中里村田沢) ☎ 63-2111
- 30日 大坪医院 (十日町市四日町新田) ☎ 57-6100
- 6月6日 庭野医院 (十日町市寿町4) ☎ 52-2711

■表紙の写真

成人式に出席したみなさんです。
 人生で一番輝く季節を迎え、伸びやかな表情があふれます。これから長い人生を一緒に歩いていく仲間です。同年はいつまでも同年のままで…。

? 町勢要覧クイズです?

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心に、クイズを出しています。

<明治22年当時、新潟県内で人口が一番多かった村は?>

ヒント：全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り…5月24日(月)

<4月号の答え> 「雪峠の戦い」

今回の正解者は竹口幸さん(上野)と星野澄男さん(野口)でした。お二人には記念品をお送りします。



「風景」
2年生 増田隼人



▶「真冬の孤独な木」
2年生 羽鳥絵里加



▶「名前の知らない木」
2年生 蔵品 瞳



▶「かびのシミ」
3年生 戸田彩加



▶「いつもの階段」
3年生 小海菜奈



▶「光りさし込む空間」
3年生 高津好孝

(6月号は千手小学校です)

● 花の季節 ●

花は美しい。天気がいいとなお美しい。

ただ、花そのものが美しくても、背景がふさわしくないと何となく品が下がったような印象を受ける。それくらい、背景や場の力は重要だ。

お寺のような、歴史ある広い空間は何の背景でも絵になる。そして、特に花が似合う。



手入れの行き届いた境内に咲く花は、そのことが分かっているかのように人を惹きつける。川西町にも、春から秋にかけて折々の花に彩られるお寺がいくつもある。

花とお寺のミニツアーで、十分町内観光を満喫できる季節になった。

㊦

